

「校長たより」にアクセスいただいた皆様

「校長たより」にアクセスしていただき、ありがとうございます。今回は、次の3つを掲載いたしました。

① 2学期始業式で話したこと

- ・相手を幸せにする行動①②③

② 本校の教育活動

- 授業づくりの基本～現状把握と未来志向～
- 「今よりもよくしたい」～わいわい会議②・学校評価から～
- 風通しのよい学級づくり

③ お耳を拝借!!

- 柏崎市のガイドラインに注目

お読みいただき、本校の教育活動にご理解いただくとともに、ご指導ご助言いただきますようお願い申し上げます。

校長 上松 武

令和6年9月18日



チームふれあい 27人の先生方へ
「なかよく たのしく たくましく」生きる
子どもの育成を目指して⑫ -0918 校長たより-



～自分のできることで、まわりの人を笑顔にしよう！幸せにしよう！～

上松 武

1 2学期始業式で話したこと

1年間やりつづけてほしいこと

④ あいてを

「しあわせな きもち」

にさせることを
たくさん しよう

どんなことを すると
しあわせに なるのかな～



・8月29日(木)の始業式で、子どもたちには次の4つができるようになるうと話しました。

- ①自分のできることで、周りの人を笑顔にしよう、Happyにしよう！
- ②何かしてもらったときは、「ありがとう」と自分から言おう。
- ③相手を嫌な気持ちにさせたら、「ごめんなさい」と自分から言おう。
- ④相手を「幸せな気持ち」にさせることをたくさんしよう(左のスライド)。

- ・①②③は1学期の始業式に話しました。「①②はできるようになってきていますよ」と褒めましたが、「③はまだだね～、がんばろう」と継続をお願いするとともに、新たに④にも力を入れて学校生活を送っていこうと、期待を込めて話をしました。
- ・④は「今、私は何をしたら、周りの人たちは助かるのだろうか」「ここで私が何をしたら、みんなは嬉しい気持ち、幸せな気持ちになるのだろうか」などと、相手のことを考えて行動することです。
- ・④を身に付けることは、これからの人生で人間関係を円滑に実り多いものにするために欠かせないと考えています。
- ・④は、子どもたちが一人で考えることは難しいかもしれません。周りの私たち教員や保護者の方々が、次のような質問をして、一緒に考えるようにしていきませんか。

〔例〕 配付物をたくさん抱えていて、今にも落ちそうです。

先生「あの子、たくさん持っていて大変そうだね。どうする？」

児童A「手伝ってあげる」

先生「どうしてそう思うの？」

児童A「苦しそうだから」

児童B「少し持ってあげると大変じゃなくなるよ」

- ・早速、相手を「幸せな気持ち」にさせる行動を見つけました。

□相手を幸せにする行動① ～ 8/30 金 中2床の水拭き ～

- ・職員室前の廊下を中学部2年生が、自在ぼうきで小さなゴミも残さず掃きとり、仕上げにぬれた雑巾で床を水拭きしていました。一往復だけでなく、二往復、三往復と一生懸命に廊下を拭いてくれました。
- ・「あしがパンパンだ～。あ～、くるしい～」と言っていた表情は笑顔で清々しさを感じました。このような体験が心を成長させ、自分に自信が持てるようになるんだなと、私も幸せな気持ちになりました。



- ・この生徒は、夏休み中に自分の行動を支援者と振り返る機会があり、「ぼくがニコニコしていると、周りもニコニコしている」ことに気付いたようです。
- ・2学期が始まり、毎日やわらかい表情をして学校生活を送っています。
- ・その後、私と目が合うと、必ずニコツとしてくれます。その表情が私の心をやわらかく、穏やかにしてくれます。

□相手を幸せにする行動② ～ 8/30 金 靴の向きを変える心遣い ～

- ・この日の下校時のことです。出発を待っていたスクールバスの車内で不調になってしまった生徒に対応するために、慌てて校長室に物を取りにいきました。
- ・戻ってきて玄関で靴を履こうとした時、靴の向きが変わっていて、すっと履きやすくなっていたことに気が付きました。
- ・後で聞いたら、小学部5年生の子どもが誰よりも素早く靴の向きを履きやすいように変えてくれたそうです。
- ・この話を聴き、さらに幸せな気持ちになりましたし、その子の心の成長がとっても嬉しかったです。



□相手を幸せにする行動③ ～ 9/3 火 スクールバスでのこと ～

- ・2学期初日から、通学状況を把握する目的で、職員が同乗しています。
- ・小学部3年生の子どもの車椅子を固定した後、ヘルパーの方がベルトをその子どもの胸のあたりに回そうとした時、両手を自分から挙げて、ベルトを回しやすく協力してくれていました。
- ・少し語弊があるかもしれませんが、いつもしてもらっていると思われがちなの障がいの重い子どもであっても、両手を挙げてベルトを回しやすく協力するという相手

意識をしっかりと持っています。このことを私たちはしっかりと意識しなければいけませんね。

- ・いつも「～してあげる対象」とは限りませんね！

2 本校の教育活動

(1) 授業改善

○授業づくりの基本 ～現状把握と未来志向～

- ・10月2日（水）に、講師に松永哲一様をお招きして十日町小4年生とふれあいの児童生徒で、車椅子バスケットボールを体験する学習を計画しています。
- ・松永様は新潟県車椅子バスケットボールチームの副代表であり、十日町市でも車椅子バスケのチームを指導されています。
- ・当日に向けて、9月3日（火）に中学部、4日（水）



に小学部のそれぞれ朝体育を見学に来られました。子どもたちの体の動かし方や運動に取り組む姿勢などを見ながら、具体的な活動がイメージできたようです。「〇〇をやってもいいな～」「〇〇もできるかも」といろいろなアイデアをお話されていました。

- ・そして、車椅子バスケを体験した後のこともお話してくださいました。この体験によって、車椅子バスケのチームメイトになって大会に出てみたいとか、余暇活動の一つとして続けてみたいとか、バスケ以外のスポーツにも親しんでみたいなどのように、子どもたちの未来につなげていくことを考えられています。

- ・私たちが、今日の授業が子どもたちの未来のどこにつながるのか、今日の学びが何に生かされるのかをしっかりと考えて、日々の授業づくりに努めていきましょう。
- ・「先生！小学部の〇年生の時に教わった〇〇を、今でも続けてやっています。〇〇を教えてもらって、ほんと助かっています」と、30歳、40歳に会った時に言われるような授業づくりをしていきましょう。

(2) 業務改善

○「今よりもよくしたい」～わいわい会議②・学校評価から～

- ・小学部・中学部の垣根を取っ払ったグループ編成で、様々な行事や教育活動、学校の運営に関する事などについて話し合う「わいわい会議②」を8/27（火）に実施しました。
- ・また、先生方が回答した前期学校評価アンケートについて、8/29（木）の職員会議で結果を先生方全員で確認しました。
- ・わいわい会議の話合いと学校評価アンケートの結果から、次のことが「今よりもよくしたい」ことではないかと私なりに考えています。

- △職場環境を今よりもよくしたい（信頼関係のある居心地のよい職場や、共通の目標をもって仕事にあたる職場、自分がやりたいと思う授業ができる職場）
- △交流及び共同学習の内容や進め方を今よりもよくしたい
- △PTA活動を今よりもよくしたい

- ・上記以外にも「今よりもよくしたい」ことはあり、今後の拡大主事会で取り上げて改善していく予定です。

○風通しのよい学級づくり

- ・前期学校評価において、職場環境に関する評価項目が最も低い結果でした。
- ・そこで、各学級で風通しがよくて働きやすい環境にするために話し合い、取組内容を決めたのが次ページの表です（一部抜粋）。
- ・今後1か月を目安に各学級で定期的に評価し、例えば、次のような成果が見られると嬉しいですね。

『こんな教材はどうか？』と切り出しら、『それいいよ！やってみよう』と言ってもらえた。その後担任間の会話が弾んだ

「気になっていたことを話してみたら、『先生も、そう思っていたんだ！私も思っていて、よかった！』と共感してもらえた。とても心強く感じた」

- ・私たち職員も、「④相手を「幸せな気持ち」にさせることをたくさんしよう」と実行してみませんか。

表 今よりも風通しのよい学級にするために

取組内容
・こどものためになる、良い学級にするためのアイデアを遠慮なく話し合える雰囲気作りをする。出された意見を否定することなく、まずはやってみようという方向で進めていく。
・心配なことをため込まないために何気ないことでも共有する。
・情報共有のため、当面月曜日の放課後に10分程ミーティングの時間を取り、気付いたことや今後の見通しなどを確認しあう時間を設ける。
・困ったこと、分からないことはそのままにせず、すぐに聞く。わからないからといって提出しなかったり、放置したりすることがないように、コミュニケーションを取り合いながら仕事を進める。
・年休など、休みを取る時は「お互い様」の気持ちで取り合う。
・お互いを思いやる言葉掛け、言動をする。
・何でも言えることが大事であるが、相手の立場や状況、気持ちを考えながら話をする。

3 お耳を拝借!!

(1) 柏崎市のガイドラインに注目

- ・柏崎市が令和6年3月に「会議の進め方改善ガイドライン（詳細版）」を作成し、ホームページ上に公開。このガイドラインの内容に対する称賛の声がたくさん寄せられたそうで、私も読んでみました。
- ・『“今までの会議をほんの少しより良くするためのきっかけやヒント“として、できるところから少しずつ取り入れていただければと思います。』と、このガイドラインを位置付けています。
- ・私が参考にしたいことを示します。

□会議前のポイント：まずは会議の開催が必要か考える。

- ・「集まる＝相手の時間を取る」という意識を持って、まずは「会議を行わない」選択肢を考える。

□会議時のポイント：参加者が意識するポイント

- ・会議は参加者全員で良い方向へ進めていくことが重要
 - －自身の役割や立場を意識し、積極的に会議に参加する。
 - －柏崎市をよくする、事業や業務をよくする観点で意見交換する。

□会議時のポイント：みんなで議論する

- ・ホワイトボードや付箋を活用して、誰もが意見を出しやすい環境にしよう

